



HPはこちら

はちおうじ NEWS

2022年3月15日 No.9

JR東日本労働組合

八王子地本 教宣部

八王子地本 第8回地方委員会を開催



東日本ユニオン八王子地本は、東日本大震災から丸11年を迎えた3月11日、八王子労政会館において、万全な新型コロナウイルス感染予防対策のもと「第8回地方委員会」を開催しました。

冒頭、清水執行委員長はあいさつの中で「私たちは今日を忘れないために、3月11日に毎年、地方委員会を開催している。東日本大震災から11年が経過したが、復興が終わったとは言えない。被災に遭われた方たちに心からお見舞い申し上げる」「ロシアによるウクライナへの軍事攻撃について原発を攻撃したほか、罪のない子供や女性を巻き込み死傷者が増大している。世界平和のために早急に停戦を望むものである」「2022春闘交渉がスタートしている。健全な労使関係がJR東日本の発展になる。労使関係は信頼を基礎に成り立つものであるが、社員が会社を信頼することができているのか。組合員の団結で要求と組織拡大を勝ちとっていこう」と語り、現状認識の一致をはかりました。

【質疑での主な組合員の発言】

- ★エアセクションによって電車が止まり、いつも遅れる。再開にも時間がかかる。今の時代で改善できないものか。
- ★駅の時計が撤去されている。お客さまからの問い合わせも多い。鉄道会社として時計は必要だと思う。
- ★ワンマン化が進み、若い車掌が将来に対して不安を感じている。
- ★ダイヤ改正から運転士がドアを扱うことになるが、列車によって取り扱いが違うなど作業が複雑になっている。会社が一つひとつの作業を明確にしていかないと、いつか大きな事故が起きるのではないかと危惧している。
- ★駅で働いているが、一人勤務ではサポートセンターが対応できないことが多い。一人勤務の駅では管理駅が対応するべきである。
- ★65歳以上の雇用について、Webで探しても希望に叶うものが非常に少ない。JESSには相談する窓口すらない。改善してほしい。

組合員の発言を受け、根岸書記長は「柔軟な働き方の名のもとに、各種施策が進む中、安全が保たれるのかを検証しなければならない」「昨年の昇給係数2は退職金にも影響する。苦しい生活がある。怒りを結集させ、定期昇給と昇給係数4の満額獲得に向け取り組んでいこう。同時に組織拡大もめざそう」と集約しました。

すべての議案を満場一致で確認し、飛沫を抑えるべく声は小さく、想いは大きく「団結ガンバロー」を三唱し、第8回地方委員会を成功裡に終わりました。